



令和4年度がスタートしました。愛の浜園においては、4月から新たな職員を迎え、ご利用者の皆様を支援してまいります。とはいえ、新型コロナウイルス感染がなかなか終息しない状況が続いていることから、園内での感染が発生しないよう、引き続き防止対策を行います。ご家族の皆様には、本園での面会などが制限され、ゆっくりお会いする機会が設けられず、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。そのような中でも、愛の浜園では、1年間のさまざまな行事を計画し、規模を縮小するなど工夫を凝らしながら、ご利用者の皆様に心から楽しんでいただけるよう努力してまいります。愛の浜園も、設備などにおいて大規模改修から10年以上を経過し、経年劣化や老朽化が散見されますので、今年度は、修繕、補修を徹底したいと考えております。令和4年度が、ご利用者の皆様がのびのびと、そして心穏やかに過ごせる1年になることを願っております。(施設長:奥田)

4月行事予定表

- 1日(金): 身体測定・血圧測定
- 4日(月): 相良クリニック
乳癌検診
- 13日(水): 健康相談
- 15日(金): 避難訓練



施設入所 生活介護

施設入所支援(定員40名)では利用者本人、ご家族のニーズや目標が達成出来るように日中利用する各事業所と連携を図りながら取り組んでいきます。利用者個々に対応できるように施設内の環境整備、職員の技術のスキルアップの為、研修や外部講師を依頼し、利用者の方々が快適な環境で生活できるようにサービスを提供してまいります。生活介護(定員52名)では利用者の年齢や障害の特性、本人のニーズに合わせて活動班を決め、その中で、個別計画、個別目標を設定し支援します。活動内容としては、班別活動、クラブ活動、レクリエーション、ボランティア活動、月行事、年間行事、講師を招いての活動、本人のニーズに答える事ができるように努力します。また、個別計画の中では、外出支援や買い物支援を計画し、楽しい時間を提供してまいります。短期入所(定員4名)奄美市における唯一の障害者支援施設として、利用者、ご家族のニーズに答えられるように努力します。又、ご家族の負担軽減や緊急時に安心して利用できるように相談支援事業所と連携を図り日程の調整を行います。日中一時支援:ご家族の困り事を相談支援事業所や市町村と連携を図り、在宅の障害者の必要なサービスに繋がるように支援します。(サービス管理責任者:市田)



フレンド

グループホームフレンドでは共同生活の場において、食事の提供、日常生活の援助を行うことにより、自立した生活ができるように支援します。日常生活の援助については世話人、支援員、日中活動の事業所との連携を図りながら、支援を行います。今はコロナ感染症の為に自粛中ですが、状況を見ながら、余暇支援、外出支援を計画したいと思っています。3月のモニタリング会議で数名の利用者から旅行に行きたいとの希望がありました。以前は関東方面、九州方面などに出掛けた事もあり、「またみんなで行きたいね」との話がありました。今年度は県の障害者スポーツ大会も開催される予定です。グループホームから4名の利用者がフライングディスクの競技にエントリーしています。2年振りになりますが、練習を始めている利用者もあり、メダル獲得に向けて頑張りたいと思っています。(サービス管理責任者:福山)

就労継続支援B型事業

令和4年度の就労継続支援B型事業は、委託事業のペットボトル、ビンの分別作業や知名瀬公園清掃、園内での手芸、農業、紬織りなど取り組んでいき、利用者の皆さんの意見や健康面を考慮して、個別のニーズに合った作業提供を行いたいと思います。そして、徹底した感染予防に取り組み、新型コロナウイルス蔓延防止に努めていきます。その中で、利用者さんの楽しみにしている遠足などの行事も、感染対策をしながら出来る限り行うことが出来たらと考えています。今年度もどうぞよろしくお願い致します。(サービス管理責任者:名島)

相談支援事業所(ていだ)

令和4年度も相談支援事業所ていだは、担当制を取らずに、相談事に即対応できるように支援を行ってまいります。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、思うように訪問が出来ず、電話で状況確認をしたり、ZOOMを利用したモニタリングも多くありました。今年度も同じような状況が続くことも予想されます。そんな中で、関わっている方々が困りごとを相談しづらくならないように工夫しながら支援していきたいと思っています。元々、主に障害者の方の相談やサポートをしていましたが、少しずつ障害児の件数も増えました。今年度も、契約されている方、一人一人にしっかりと向き合いながら、利用者さんの困りごとに対応していきたいと思っています。また、地域で困っている利用者さんのニーズに応えられるように一緒に考え、一緒に目標に向かって取り組んでいきたいと思っています。(相談員:富田)

島の心! 愛の浜園の心をひとつに!!

3月19日(土)から、第94回選抜高等学校野球大会(春の甲子園)が開幕しました。今回は、私たちの島、奄美大島から、大島高校(大高)が8年ぶり2回目の出場を果たしました。1回戦が24日と決まり、何かしらの方法で応援出来ないかと考え、園長に相談したところ、多目的ホールで、大きなスクリーンを使い、園全体での応援を計画して頂きました。支援員より、横断幕、激励メッセージ、小旗を使って応援しようとの提案があり、18日、利用者さん、職員、皆で協力し、想いを込めて作成しました。利用者さんからは「相手の球をよく見て」「大高ファイト」など、多くの言葉がありました。そして当日、大高出身の職員も多くおり、朝から皆ソワソワし、待ちきれず、緑の大高ジャンパーを早くから着ている職員もいました。感染症対策をしっかり行い、ついに試合開始です。開始と共に、手作りの小旗やメガホンを振り、チジンを叩きながら、皆必死で応援しました。最終回には全員の想いがひとつになっていました。結果敗れてはしまいましたが、最後まで諦めない大高選手の姿に感動し、涙する職員も。新型コロナウイルスの影響により、皆で何かに取り組む事が少なくなりましたが、今回皆での応援は、利用者さん、職員の心が、愛の浜園だけではなく、島の心がひとつになれた気がします。大高野球部には、愛の浜園に、島全体に、夢や希望、笑顔を沢山貰いました。本当に有難うございました。これからも、愛の浜園全体で、応援していきたいと思っています。※私も、野球部OBです。皆様からの、沢山の支援やご声援に感謝致します。有難うございました。(記事:河村)



取材時の風景

愛の浜園での大高応援グッズの製作活動が3月20日の南日本新聞で紹介されました。

月間三賞受賞者

<努力賞>

- ・永田 三十六さん…就労 B で折鶴を丁寧に折る事ができました。
- ・圓 初代さん…支援員の声掛けなしでも、自分からマスクをつける事ができました。
- ・酒井 真希さん…ドライブ時、自分でシートベルトを締める事ができました。
- ・重村 朋哉さん…苦手な爪切りに落ち着いて取り組めるようになってきました。
- ・藤島 亜由美さん…年の祝いでいつもと違う洋服やメイクをし、落ち着いて写真撮影に参加する事ができました。
- ・塩崎 サチ子さん…おやつを自分で食べる事ができるようになりました。
- ・最上 順子さん…目薬の必要性を理解し、点眼を継続できました。
- ・榮 敏郎さん…落ち着いて過ごす事ができました。
- ・清正 倫太郎さん…長期の短期入所を頑張りました。
- ・龍田 光保乃さん…長期の短期入所を頑張りました。
- ・中田 茂代さん…GH の自室の掃除を頑張りました。
- ・森山 義範さん…洋服の整理整頓を頑張りました。
- ・盛 重和さん…衣類の片づけを丁寧に取り組む事ができました。

- ・竹田 美喜子さん…花の水やりを頑張りました。

<親切賞>

- ・中江 公三さん…いつも他の利用者へ定時の検温の声掛けをしてくれました。
- ・森山 真智代さん…各居室前のルームプレートにひな祭りの飾りを皆のために、積極的に作ってくれました。
- ・田中 國枝さん…
①シーツ交換の際、声掛けを行うと敷きパットや枕カバー、シーツを剥がし、廊下に出す事ができました。
②他の利用者の荷物を運んだり、洋服にお茶を溢した利用者の服をハンカチで拭いてあげたり、優しく接する事ができました。
- ・政 みさ子さん…職員の声掛けで、一緒に本館に物品を取りに行き、棚になおすところまで笑顔で取り組みました。

<奉仕賞>

- ・朝谷 テツミさん…ホーム周りの畑の草取りをしてくれました。
- ・永田 三十六さん…GHフレンド4 周辺の草取りをしてくれました。
- ・皆田 綾子さん…お風呂のお湯入れをいつも気に掛けてくれています。

年間努力賞 受賞者

年間努力賞とは・・・年間を通して頑張ったことをたたえる賞の事です。

- ・政岡 りつ子さん、生野 由子さん
…ホーム周りの草取りを頑張りました。
- ・伊元 サチ子さん…余暇時間を楽しむ事ができました。
- ・中江 公三さん…フレンドの利用者のお手伝いをしてくれました。
- ・濱手 輝代さん…年間を通して、配膳の手伝いをしてくれました。
- ・東條 和三さん、中江 公三さん
…男性棟の掃除をしてくれました。
- ・岩越 隆道さん…①朝の挨拶にこだわる方に1年通して挨拶を続けてくれました。
②朝礼の時に園歌を元気に歌っていました。
- ・高 由香さん…ストックヤードの作業を沢山おぼえる事ができました。
- ・朝谷 テツミさん、川畑 美葵さん
…紉織を継続し頑張りました。

- ・郁 一男さん…義歯の装着、管理ができました。
- ・森山 麻李亜さん…落ち着いて作業に取り組む事が出来ました。
- ・生野 由子さん…洗面所を使用した後に、毎回綺麗に拭いてくれました。
- ・勝山 道代さん…就労にて弁当箱を洗い終わると、流し台の残飯などを綺麗に掃除してくれました。
- ・竹田 美喜子さん…朝の挨拶にこだわる方に1年通して挨拶を続けてくれました。
- ・里 喜美子さん…体調に合わせて、できる事を取り組み、困った時は伝える事ができました。
- ・碩 友美さん…落ち着いて過ごす事ができました。
- ・隈元 利彦さん…洗面所掃除を頑張って取り組んでいました。
- ・野畑 則和さん…透析を頑張りました。
- ・窪田 健太さん、岩越 タツヨさん
…デイサービス和月に通い、リハビリを頑張る事が出来ました。

3月の愛の浜園



副主任挨拶



4月から副主任として働かせていただくことになりました、松原 充子(まつばら みつこ)です。私でいいのか、私にできるだろうか、迷いや不安もありましたが、これまで諸先輩方が築き上げてきた愛の浜園、私達皆で作ってきた女性棟のチームワークを心の糧として、より良い愛の浜園を作っていく力になればと引き受けさせていただきました。微力ではありますが、私ができること、私だからできることを全力でやっていきたいと思っております。利用者の皆さんも、職員もいつも笑顔の愛の浜園であるよう頑張ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。(記事:松原(充))